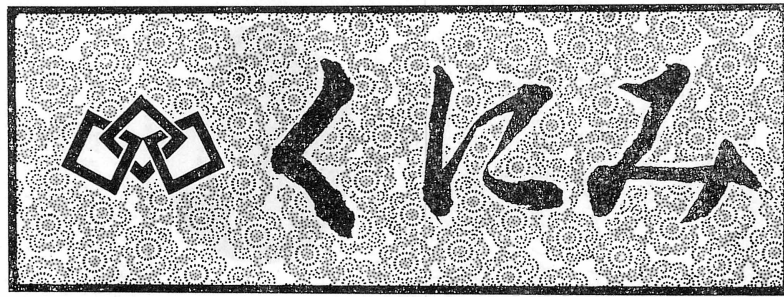


人口と世帯数	
男	5,794人
女	6,185人
計	11,979人
世帯数	2,631世帯
	47.1.10 現在



No. 172

1972/1/15

編集発行 国見町公民館

ようこそ聖火 (札幌オリンピック冬季大会)

(聖火、点火、1区から2区え) 拍手と日の丸の中札幌え (当町第1区を行く聖火)



新春雑感

公民館長 佐藤善次郎



激動する世界の潮流の中で、昭和四十七年の新春を迎えたわけでありませう。昨年の後半は、全く激動そのものでした。

この様相は今年も続くものと考へねばなりません。翻って、わが国見町を考へますと、やはり激動が内在していることが察知されます。高速自動車道路と東北新幹線の着工、それに附随するインターチェンジとサービスエリアの建設、加えて今秋の町長選挙等、どれ一つとして重大問題でないものはありません。かような問題に対処して、為政者は聡明な洞察力をもって、前途に誤りのないよう萬全を期さねばなりません。

さねばなりません。し、町民もまた大らかな気持で、これに協力せねばならないと思ひます。他所には応々にして自分の非協力を棚にあけて、為政者の弱点をのみ衡くことを誇りとして見ている人を見かけます。心にたえません。心すべきことと思ひます。

× × ×
アメリカの未来学者のハ
マン・カーンが、「二十

一世紀は日本の世紀である」と書いて物議をかましてから、丸三年になりました。その翻訳文を見ますと、主として経済面を取り上げて

強調しておるのですが人間は経済がそのすべてではありませぬ。経済政策重点主義が、今日の公害をひき起し、人間が生きておることで、公害を生ぜしむるような矛盾した結果をみておるような状態です。経済大国よりも福祉国家をといわれるのも至極もつともなことと思ひます。ハマン・カーンは最後の項で、一億の日本人が生き果いを感じておるならばという仮定のもとに書いたものであることを記しておきます。

それでは現在の日本人が生き果いを感じておるのであるのかということになります。遺憾ながら疑問視しないわけにはまいりませぬ。国の内外に派生するマインナス諸条件の渦中にあることは容易なことではな

すが、各人が、イメージをエンヂする必要があるように思ひます。つまり物事に不快指数に重点をおかず、爽快指数に重点を置く考へ方をすることです。これを基本として考へれば、相当生き果いを感じさせるに役だつと思ひますがいかがでしょうか。

× × ×
大学を出た人に対するその何らかの特典はよいだけだ。それが人間の一切であるように、それが職業と地位のすべてである条件であるように、そうなる条件であることが、くやくしてたまらない。せめて、力のある人、誠実である人、正しい人、そうした人間が、すくすくと伸びてゆける。明らに仕組の社会が欲しい。これは山形県下の農村青年達が出版した詩集「石ころの歌える」の中の一節です。私はこの詩集をつい先日読んでハッとしました。同時にあまり学歴主義のわが国の社会の仕組に、激しい憤りを感ずりました。そしてあらためて昨年四月に発表された社教審の答申と六月発表の中教審の答申とを考へました。なぜ社教審と中教審とが、もっと総合された形の、答申ができないものでしょうか。一日も早くこんな詩の消える実力がものをいう社会をつくりたいものです。生涯教育の重要性を切に感じます。

町議研修旅行 その四

新年おめでとうございませす。何もかも容易ならざる一九七二年皆様共々意義ある一年としたいものと考え頭張りたいた存じますので宜しう御願いたします。

さて、栗東町の次の視察地、東伯町の農業構造改善事業、東伯町の新しい農業と毎月発行される「公報とうはく」等のパンフレット等の



帯施設としてのサービエリヤ、インターチェンジの設置も本きまりとなり、また昭和五十年年度完成をめざす東北新幹線の建設も新春早々着工の手配を進められております。これらの施設が完成の暁は本県最北端に位置するわが町も高速交通の要衝となり、将来の発展期して待つべきものがあり皆さんとともに御同慶の至

新年おめでとうございませす

国見町長 関口道孝

異常天候による農作物の被害等相次ぎ、農家にとつては誠に試練の年ともいふべき年であり、国際経済の影響等幾多の悪条件が重なり容易でない年でありました。が、皆様の努力により、これを乗り越えて参りましたことにつきましては、深く敬意を表する次第であります。

東北縦貫自動車道及び付

りであります。インターチェンジ周辺の開発、土地利用計画につきましては本年四月には樹立の運びとする予定であります。当町としては農業、工業の振興を併せて、商業の発展を図るとともに商業を促進する方向で検討を進めて居ります。

展の足がかりといたしたいと思ひます。

都市計画の内容につきましても今後検討を加え農業、工業、商業それぞれ調和のとれた発展を期して参りたいと考えてあります。

昭和四十七年度において

一、町民体育館の建設

二、民族資料館として古民家の移築

三、上水道源変

更の事業

四、貝田簡易水

るものと感じた。感心の連続と思われるかも知れないが井戸の中の蛙が広い地平線に出たような私で致し方ないと思ふ。

町長から先ず町のあらまは袋の中にある資料から汲みとってほしいといつて次のようなお話を承った。

先ず地盤整備は現在七〇〇町歩計画定中であること。県のネクター工場冷蔵

道事業

五、川内地区排水事業

六、乳幼児の医療費十割給付

七、県営圃場整備事業実施の準備

八、町道、農道の改良事業等を重点に実施するとともに、広域行政についても隣接各町との調和を図り、さきに教育委員会に諮問中の小学校教育施設整備に関する答申があり、またこの中で充分検討の上計画的に整備を図る等積極的に推進して参るべく決意をあらたにしている次第であります。

そして町政のめあてとして掲げる「明るく豊かな住みよい町づくり」をめざして最善の努力をいたして参る所存であります。

町民の皆さんどうか本年も町政に対し一層のご支援ご協力を賜われますようお願い致しますとともに皆様方のご多幸をお祈りいたしまして新年のごあいさつと致します。

死亡日	氏名	年齢	住所	敬称略す
12, 2	菊地 龜七	80	塚野目正法寺42	
6	阿部 長政	82	大木戸孝徳5の3	
7	菅野 ユキ	35	内谷館脇33	
7	本間 正	61	藤田 観月台1	
11	仲野 周八	77	泉田 源女9	
10	野崎 善六	67	塚野目前畑8	
11	後藤 アキ	88	石母田国見山下4の5	
22	佐藤 アキヨ	61	山崎 滝山14	
23	佐久間 誠二	1	塚野目堀込27	
24	吉田 キヨ	1	森山西新田24	
25	清水 亜紀子	84	小坂 カニ坂46	
28	清 紀子	1	森山 西国見34	
29	佐藤 モト	71		

お悔み申し上げます

(十二月中に亡くなられた方)

庫が設置されている。鳥取梨の主産地である故に花粉センターを設けてあり県下使用料の三分の一の花粉を賄っている。酪農の為に粉乳製造もしている。プロライ事業のために食鶏処理場を設け大阪、京都に直売所を設け有利に販売し農業利潤の増大を期している。又一方情操農業と言ふのが花の栽培をしている。グループは日本一の花の供給地を目指して精進している。何れも農業協同組合の協力が心要なので農協と一体となつて町の施策を進めているとの事で技術連絡協議会を最高度にする事業改善普及所の利用農家の意欲の向上等相俟って今日に至っている。

農家の現状は第一種兼業

が多くなり、専業農家は漸減にあるとの事、しかも人口は漸減しているが加工工場設立によつて町内就職も可能になった事等、町の概況についての説明を受けた後町長の案内で町内の農業施設や圃場の見学にうつつた。(斎藤 勘吉)

◎犬はつないで飼いましよう

今回犬による危害の防止に関する県条例が改正され、本年一月一日より県内どこでも飼ひ犬は必ずつないで飼ひなければならぬことになりましたので、犬による被害を起さないよう、犬の飼育者は厳守されるようお知らせいたします。(住民課)

婦人学級

高田先生の

中国みやげ話

二十八日午後一時から、町民福祉センターで、高田琴子先生の中国訪問おみやげ話をおききする。高田先生は戦後、新しい婦人運動の指導者として活躍され、十年前にも一度彼の地を踏み、今回は働く婦人訪中団

素顔のアメリカ (その三)

私達がホノルルを最初に北米各地を訪れたが何処へ行っても日本人が目につきまた活躍されている様子を知った。ハワイでは現在副知事、下院二人、上院一人



州議会、の半数が日系人で占められ、ロサンゼルスでは福島市出身で日系商工会副会頭の阿部さん、カナダのトロントでは、佐倉出身の亀岡さんが中心となりお世話をいただき、日系文化会館という立派な施設を造って日本文化の紹介、外国人との交流の場にしていた。北米各地で日系人について、我々日本人としても一度考えなくてはならない問題を提起させられた。サンフランシスコで十月初め日本の遠洋艦隊が訪れ盛大な歓迎を受けたが、この前に市内では一世、三世、三世の間ではささやかな意見の食い違いがあったという。一世の人達は「盛大な

たので、午前は明治学級そして午後を婦人学級にゆずっていただくことになった

奨学資金入学支度金(大学)募集

昭和四十七年度の貸与者(高校進学者は中学校長を通じて募集しております)で中学校に申し出下さい

昭和三十七年度の貸与者(高校進学者は中学校長を通じて募集しております)で中学校に申し出下さい

1 奨学資金 募集人員 若干名

(1) 返還方法 卒業した年の六月から返還する

3 申込み期限 昭和四十七年二月十日

親睦を深め、心のきずなを強める催しが必要で、その中に歓迎があるのなら良いが、それだけの目的での会ではだめだ」と言い、最後に三世のグループは手を引き、一世が中心になって企画、実行したのだった。

ロサンゼルス、トロントでも間にずれが出しいた人種差別に対する見方、日本人についての考え方であった。一世は富の為二世は白人等への同化を目標に、一方三世になると子どもの時から英語を話し、衣食住も米国、カナダ人並自分達も米国、カナダ人と思ひ込んで育って来たが顔形が日本人であるため、相手から日本人である事を思い知ら

たと言ふ。日本人とは私達には大きな問題だった。同一民族、同一言語を使用し国家を形成して住んでいる我々にとっては、深刻に考えたこともなかった。日本の良さ、誇りうる物は何かと、世界の中の日本について改めて考える必要があるきつかけを与えられ、同一人種だからぶつかっても「失礼」とも言わない、それが許されていた。こうした身近な事を見ても、国際的に通じる姿日本、日本人になる様にもう一度考えたいものである。真の世界の大国になるためにも自分の地域のために。

4 申込み場所 国見町教育委員会事務局 (高校進学者については中学校に申し込むこと) 5 その他 (1) 詳細は教育委員会事務局にお問い合わせください。 (2) 願書等の用紙は教育委員会事務局にあります。

小坂 後藤与志男 (写真は日系三世と)

おめでとうございませう

(十二月中出生届をされた方 敬称略す)

出生日	氏名	親名と続柄	住所
11, 29	山崎美智子	明の2女	藤田中沢一、1
11, 28	今野 葉子	武彦の長女	藤田中沢二、3の5
11, 28	大内 裕美	勝美の長女	藤田南21
12, 30	吉田 寿恵	豊美の2女	山崎館43
12, 3	近久ひとみ	寿夫の2女	石母田下原31
4	佐藤 路子	光男の長女	山崎北古館8
5	鈴木美津夫	美八夫の長男	川内内上43
6	平井 亨志	行夫の長男	山崎北古館8
7	菊地 央子	功の2女	塚野目正法寺5
9	一条 薫	昌右の長女	石母田上野二の1
10	谷津直緒美	剛人の長女	山崎北町田36の6
11	岡田 友加	洋夫の長女	貝田寺脇9
16	村上 典子	幸夫の2女	徳江東7の2
18	阿部真紀子	勉の2女	山崎北古館8
22	佐久間誠二	誠介の長男	塚野目堀込27
28	須賀 清久	惣二の長男	森山中島10



明治学級

※菅野卓也さん

時局のはなし

十一月に木村知事さんのヨロツパー視察談をきいたわれわれは、こんどは時局問題を勉強しようと、十二月十七日午後一時から、民友新聞社菅野卓也先生を招いて学習会を開いた。これは婦人会と共催で出席者合せて百五十名(内明治学級生百二十名)。

菅野さんは内谷出身(菅喜さまのむすこ)でたまたま工務局長の要職をつとめている。今世界を動かして



いる大きな力アメリカ、ソ連、西ヨーロッパ、中国四大国の関係や印度とパキスタン紛争の話からドルシヨック課徴金、かわせレートなど近頃の新聞テレビに使われている新しいユトバについてわかりやすく説明されたので集まったとしよりたちにもよくわかり、大よろこびであった。

※後藤与志男君

アメリカの話

また、二十二日には鳥、取の後藤与志男君を呼んでアメリカ旅行のおみやげ話をきいた。後藤君は九・十月の二月間、全国青年海多派遣視察団アメリカ班十三名の一名として、アメリカカナダ各地を視察してきたので、その模様は毎月の館報「くにみ」は連載されているとよりであるが、それをスライドを使いながらわかりやすく説明されたのでわれわれとしよりにもよくわかり、たいくん参考になった。これまでアメリカといえは、すべて新しい国・豊かな国・りっぱな国・えらい国・住みよい国となんでもよいところばかりの国と思われがちであったが、決してそうではない。人種問題(黒人問題)・青少年不良化問題・風紀問題・たば

こや麻薬問題・経済問題・保安問題と想像もできないような大きな社会問題や政治問題が山積しているといふ。その一つ一つについて若い目から見たアメリカ・カナダのうらおもて、ほんとうにおもしろく有益な話であった。

※このつぎは

新しい中国の話

高田琴子先生

このつぎは中国の話を書くことにする。中国といえは昔の支那、ああ支那の話かと軽く考えがちでありました、七億の人口を擁するえたいの知れないおそろ、しい国、なにしろアメリカ・ソ連・西ヨーロッパと肩を並べて多極化世界の一極を占めている巨大国、最も近くて遠い国と思われているのが事実である。戦後四分の一世紀を経た今日の中国とはいったいどんな国か。先ごろ、福島県働らく婦人訪中団の団長として、新生中国の各地を視察し、多数要人と交流してこられた高



田琴子先生を招いておみやげ話をきくことにした。皆さんお誘い合わせ、多数おいでください。

* テーマ女から見た中国
* 時日一月二十八日(金)
午前九時半より
正午まで

* 会場 町民福祉センター

* 講師 高田琴子先生
(午後は婦人学級で
おききする)

壮年学級

高速化に対処する

国見町壮年学級(委員長樋口清三氏)は十六日(日)町民福祉センターで学習会を開き、高速自動車道や新幹線が開通した場合にわれわれ町民はどうしたら良いかについてみんなで考えることにした。壮年学級は大正生れの老壮年の学習の場として三年前発足したが都合により昨年一年間休業し会員個々に反省の機会を与えていた。その間、人間に休養があっても世の中には休みがない。高速自動車道はインターチェンジ・サービスエリアという二つのお

伴まで連れ町民の前に出現し、東北新幹線の路線決定と併せて、われわれ町民の好むと好まざるとを問わず

高速化の禍に巻込まうとしている。ここにおいてわれわれ国見町民はいかに考えいかに行動したらよいか、今こそほんとうに日頃の学習を生かすべきときであるといふので再び学習にとりかかったのである。

もちろんこうした問題は一回や二回の学習でできるわけではなく、今後継続的に実施する予定なので有志各位の奮ってのご参加をおすすめする。

尚次回は今月二十八日の明治学級、婦人学級に合流して高田琴子先生の「中国の話」をきく。前午でも午後でもよい、都合のよい方に出てもらいたい。



あつかし俳句会(十二月十八日)

兼題 「熱燭」 「クリスマス」 席題 「大晦日」

剪定師熱燭好む最上衆
明王の火焰の如く寒椿
熱燭や無言の中にわれを置く
熱燭や放談の友欲しき夜
六十の顔も並べてクリスマス
凍てつきし魚籠に鮫鱈や大晦日
熱燭の加減定着己が妻
大晦日鏡の中にあすの顔
熱燭の断るすべを奪られけり
讚美歌の顔にうつろうツリーの灯
熱燭や無器用のまま年老いぬ
幸せなむそ路を生きて熱き燭
熱燭やもみすりの埃払いけり
クリスマス飾りて小さき田舎店
熱燭や妻待つ夕べいそぎけり
客足の早し繁しのおおみそか
熱燭や小指は上になてあり
クリスマスなになじめぬ明治人
かたことの係を主賓にクリスマス
熱燭に愚痴がこぼるる屋台かな
クリスマス大工も小声で聖しこの夜
クリスマスケーキ許りの老夫婦
クリスマスピアノ弾く子と歌う子と
信じたさひとの言欲しクリスマス

早田 灰鳥
奥山 甲二
齋藤 鶴楼
勝 一陽
正 雄
正 一
痴 仏
雨 田
蕨 水
山 月
泰 山
夢 水
吐 絹
貞 治
木 公
祥 子
は り 子
貞 子
昭 子
か ね 子
え い 子
ア キ 子
栄 子